

第7回国際コンファレンス

アジアの成長と金融セクターの役割

セッション I 「アジアにおける金融・資本市場の発展と金融規制に対する
インプリケーション」

世界金融危機と政策対応

河野 正道

金融庁総務企画局総括審議官(国際担当)

概要

今回の世界金融危機は、かつてない形での世界的な政策対応につながった。本プレゼンテーションは、危機が始まった2007年以降の出来事の概要を時系列で示し、我々がこれまでに採用した規制改革を説明するとともに、さらに議論が必要な分野を示すものである。

具体的には、(a) 2010年11月のG20ソウル・サミットの成果、(b) システム上重要な金融機関に関する金融安定理事会(FSB)の報告、および(c) バーゼルIII:銀行の資本と流動性に関する新しい規制パッケージに焦点をあてる。

金融規制と金融セクターを改革する取り組みにおいて、我々がどの位置にあるのかを確かめ、改革の将来の方向性について考えるにあたって、本プレゼンテーションはさらに議論が必要な問題を指摘するものである。

具体的には、以下の通りである。

- (a) 金融危機の本質的な原因のすべてについて、実行された改革において適切な対応がなされたか？ さらなる注意を要する分野は何か？
- (b) FSB及び基準設定機関の構造、ガバナンス及び透明性は、彼らの役割の重要性の観点から十分か？
- (c) 国ごとに多様な改革措置をどのようにして一律のやり方で実施できるか？